

岩野田まちづくりビジョン〈2022年発〉

岩野田まちづくり協議会は、自治会をはじめ各種団体等の連携を図り、話し合いの場を持ち、より良いまちづくりを推進することを目的として、令和元年10月に設立されました。

この間、コロナ禍で十分な活動は出来ませんでしたが、より良いまちづくりを目指して話し合いや行事を行ってきましたが、この先の不安を感じました。

そこで、今年度、より多くの方からまちづくりに関する意見やアイデアを収集するためにアンケートや意見聴取を行い、ワークショップ、役員・委員会で話し合い、10年先を見据えた岩野田まちづくりビジョン(案)を策定しました。皆さんのご意見や要望をお待ちしております。

アンケート結果やご意見等から見えてきたこと

岩野田は、『山紫水明』、『自然豊か』で『住環境がよい』と多くの方が満足しておられます。

反面、この先の事を考えると、少子高齢化に伴う様々な問題や災害に対する不安など、課題が山積していることがわかりました。

岩野田の特徴・特性(良いところ) ⇒ 住み心地がよい 90%以上

- 自然が豊かである ○静かで日当たりなどがよい ○日常生活がしやすい
- 子育て環境が良い ○公共交通機関が便利 ○病院や福祉施設が近くにある
- 歴史的遺産が多い など 利点を生かしたまちづくりを推進したいと思います。

岩野田の課題(改善したいところ) ⇒ 地域住民の協力体制

- 地域の共同作業の継続 ⇒草刈りや河川・水路清掃等の協力体制
 - 自治会などコミュニティの維持 ⇒自治会加入率低下、役員の見直し、行事等の協力・参加減
 - 移動手段の確保 ⇒高齢者や障がい者等の移動手段確保、コミバスの利便性向上、狭い道
 - 高齢者の見守り体制 ⇒高齢者・一人暮らしの増加、病気や怪我、災害時の対応、協力体制
 - 健康で自立した生活 ⇒健康寿命伸長、健康づくりで“ふれあい(交流)”笑顔の生活
 - 災害時の安否確認 ⇒災害時の対応、備え、体制が整っていない? 意識改革と協力体制
 - 空家・空地の管理 ⇒空家・空地の増加、防災上の心配、市との協議
 - 伝統行事やイベント等の継続 ⇒みこし祭りや夏祭り、スポーツ大会、文化祭等の継続と見直し
 - 担い手不足 ⇒自治会役員・各種団体員、子ども見守り隊等、ボランティアの担い手不足
 - 交通安全、危険箇所改善 ⇒道幅狭く危険箇所が多い、ガードレールが無く危険、市との協議
 - 薬大跡地の活用、公共施設の充実 ⇒健康づくりや交流する場が少ない。市との協議
 - 様々な世代交流 ⇒異年齢交流から学ぶ社会性や人間力、子どもは地域で育てる
- 大きな負担を感じない協力と参加でまちづくりを推進したいと思います。

〈まちづくりのポイント〉人生100年時代 健康(体・心・頭脳)・ふれあい・助け合い

☆皆さんの参加・協力で、笑顔の絶えないまちづくりをしましょう!

☆行事には無理をせず、お互いに助け合いながら、楽しく参加・協力しましょう!

☆行事でふれあい、災害時等、困ったときに助け合える関係づくりをしましょう!

☆誰もが気軽に、楽しく参加できる行事を考えましょう!